IV. 平成17年に発生した事故の概要

1. B級事故

[1] 屋外設置式湯沸器の屋内設置によるCO中毒

(1) 発生日時 : 平成17年3月26日(土) 9時15分頃

(2) 発生場所 : 新潟県 一般住宅 木造2階建

(3) 設備概要 :

①供給形態	50kg容器	2本
②燃焼器具	瞬間湯沸器(屋外設置式20号) 1台	
③安全器具等設置状況	ガス漏れ警報器	有
	ヒューズガス栓	有
	マイコンメータS	有
	不完全燃焼警報器	無

(4) 被害状況 :

- ①人的被害 死者 1人
- ②物的被害 なし

(5) 事故の概要 :

消費者がシャワーを使用中に倒れ、家族が発見して病院に搬送したが、CO中毒により4日後に死亡した。屋外設置式湯沸器が浴室に隣接した物置内に設置されており、湯沸器が黒煙を発生するほど不完全燃焼を起こしたため、多量のCOが浴室ガラリ等から浴室内に侵入していた。

(6) 推定原因 :

当該湯沸器の設置場所は、居住部分の外側で壁面に隙間もあるので販売事業者は、屋外と認識し、調査時等に改善を指摘していなかった。しかし、現地確認の結果、四方が囲まれており、屋内と判断された。また、今回と同様な燃焼不良が5回発生しており、その都度、機器メーカー、販売事業者等の点検修理を受けていた。

警察の現場検証でのCO濃度は、給湯器排気口で1%、浴室内で0.3%に達した。なお、警察の給湯器の鑑定結果では、特に故障は認められず、不完全燃焼を起こしたのは設置条件によるものと推定された。

(7) 行政指導等 :

- ①新潟県LPガス協会に対し、再発事故防止のため緊急再点検を会員へ周知するよう文書(「一酸化炭素中毒事故の未然防止について(依頼)」)で依頼した。
- ②販売事業者に警告書を交付し、改善を指示した。
- ③協会の総会、役員会、協会誌発行等の機会を捉え、周知徹底を図った。

2. CO中毒事故の概要

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
北海道 札幌市 17.2.18	CO中毒 軽症者 3 (女性52,37 ,男性38)	飲食店 木造2階建	12:24	一般消費者 等	<p>調理をしながら、救急隊到着後、救急隊の訴え、診断の結果、CO中毒(30%)と診断された。排気筒の蓋が斜めに倒れ、CO中毒(30%)と診断された。排気筒の蓋が斜めに倒れ、CO中毒(30%)と診断された。排気筒の蓋が斜めに倒れ、CO中毒(30%)と診断された。</p>	排気不良	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり 	<p>(行政指導等) ・販売事業者の安全を確保するよう指示した。 ・北海道Pガス協会の周知による事故防止を要請した。</p>
新潟県 村上市 17.3.26	CO中毒 死者 1 (女性51) < B級 >	一般住宅 木造2階建	9:15	販売事業者	<p>使用中に倒れ、家族が倒れ、CO中毒(20号)が浴室に侵入して死亡した。屋外用湯沸器(20号)が浴室に侵入して死亡した。屋外用湯沸器(20号)が浴室に侵入して死亡した。屋外用湯沸器(20号)が浴室に侵入して死亡した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・湯沸器の給排水不良 ・消費設備調査不良 ・緊急対応不備 <p>< 法27条第1項 違反第1号 第2号 第3号 第4号 法31条第1項 法81条第1項 ></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり 	<p>(行政指導等) ・新潟県Pガス協会に再発防止を要請した。 ・緊急再点検を行うことについて(依頼)素中(「一酸化炭素中毒事故の未然防止に依る(依頼)」)で依頼した。警告書を販売業者に交付した。 ・協会の総会、役員等の協議、会誌発表、周知徹底を図った。</p>

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
北海道 札幌市 17.5.29	CO中毒 軽症者 2 (女性34 男性1)	共同住宅 鉄筋コンクリート 造3階建	22:23	販売事業者	入居者2名が21時頃に入浴後、頭痛及び手足のしびれを訴えたため、119番通報し、病院に搬送されCO中毒と診断された。湯沸器（FE式16号）の排気筒トッブから約70cmの位置に鳥の糞（排気筒トッブと排気管の接続部）が確認された。排気管（φ105）との接続部から排気（φ60）と水平管（φ105）との接続部が確認された。また、脱衣所に流入したことが確認された。そこから鳥が進入したと推定された。	鳥の糞による排気閉塞 ＜法違反＞ 第27条（保安業務の実施）に抵触する可能性あり	・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) 販売事業者に対し、以下の事項を指示した。 ・当該マンション全戸の燃焼器等の点検の実施 ・他の同様機器の点検の実施 ・緊急時対応の保安教育の実施及びマニュアルの作成 ・社内マニュアルの対応策について報告 北海道エネルギーガス協会に対し、事故防止の周知により再発防止について要請した。
静岡県 藤枝市 17.7.4	CO中毒 軽症者 2 (男性67,55)	飲食店 鉄骨造	12:00	一般消費者 等	厨房で業務中に従業員2名がCO中毒のため倒れた。事故時は従業員を閉め、換気扇も作動させずに麵茹焼を起こしたため換気不良で不完全燃焼を起こしたと推定された。排気口も目視していること確認された。	換気不良	・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズなし ・マイコンSあり	
福島県 南会津郡 17.11.15	CO中毒 軽症者 4 (男性28 女性28,6, 5)	一般住宅 木造平屋建	18:30	販売事業者	一般住宅において家族4人がCO中毒になり病院に搬送された。(20号)が屋内に設置されておおり、事故当日は台所に2ヶター3台も併用して使用したことから酸素不足となり不完全燃焼を起こしたと推定された。	換気不良 適合設置湯沸器(屋内に設置したため)＜法違反＞ 規則第44条違反(屋内に設置した)	・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズあり ・マイコンSあり	

3. 埋設管事故の概要

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
神奈川県 川崎市 17.1.11	漏えい	共同住宅 木造2階建	21:40	販売事業者	周囲がガス臭いとして、販売事業者が入り、現場到着後、業者へ通報を中止し、自記圧力計で結果、埋設配管の漏えいと判断した。気密試験の結果、掘り出しからガスが漏えいしたと判断した。埋設管の深さは5cm程度で、その根が折損していた。そのため、継手木の根の成長に伴い折損を押し上げた。継手部に応力が加わり折損に至ったものと推定された。	供給管（埋設管） の損傷	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
福岡県 朝倉郡 17.2.14	爆発 軽傷者 2 (男性36,20)	旅館 鉄筋コンクリート造3階建	17:15	販売事業者	厨房で調理作業中、厨房地下倉庫への下り階段部分を火が伝わり、それが直後に爆発した。ガス配管埋設部でガス滞留、漏えいした。ガスが地下倉庫へと埋設された。階段（コンクリート製）にも埋設されていた。配管が沈下により亀裂が入り、そこからガスが漏えいしていた。故以前に何度かガス臭がすると調査依頼があったが、販売事業者が緊急時対応できなかった。行わなかったことにより確認できなかつた可能性が高い。	配管（埋設管） の損傷	・ガス漏れ警報器あり（検知できない位置） ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり	（行政指導等） ・販売事業者に対して管理対象消費者の一部に対する改善の義務を交付すると適切な遂行・帳簿の記載不備・保安教育の充実を交付した。
岩手県 滝沢村 17.3.6	漏えい	団地敷地内 空き地	18:45	雪害	団地の住人が除雪機を使わずに誤って土中の埋設供給管（PE管）を損傷したためガスが漏洩した。	供給管（埋設管） の損傷	なし（空き地）	
北海道 札幌市 17.3.22	漏えい	共同住宅 (雑居ビル)	3:48	設備工 事業者	当該ビルに入店している飲食店の店主がガス販売業者へ通報して設置されている供給管分岐部からガスが漏えいしているのを確認した。連絡を分岐部供給管分岐接続部の施工不完全により漏えいしたものであった。	供給管（隠蔽部） の施工不完全	・ガス漏れ警報器あり（検知できない位置） ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	・販売事業者に対し、施 漏えい検査等を実施後、指 給を再開するよう指 示した。 ・北海道ガス協会 に対し、事故事例の 周知により再発防止 について要請した。

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
奈良県 奈良市 17.11.17	漏えい	道路下 (集団供給 供給設備)	11:17	都市ガスの 工事業者	都市ガス会社及び都市ガス工事が埋設管の存在を認め、位置を確認しないうちに埋設管(供給管)を掘削した。9月2日に都市ガス協会から販売業者へ「地下埋設物事前調査協議書」が送付され、協力が不調に終わった。しかし、協議が不調に終わった。連絡せざるに工事を行った。	供給管(埋設管)の損傷	なし (集団供給の埋設管に係る事故)	(行政指導等) 販売業者に対し、協議依頼し、業者に對し、ローワーを指示した。 (都市ガス事業者の安全確保の観点から、ローワーを指示した。)
宮城県 牡鹿郡 17.11.21	漏えい	その他 (水産物流 センター)	9:00	設備工事業 者	ガス事業者が調査したところ、埋設管(配管)が漏れ、下管に滞留していた。ガス事業者が調査したところ、埋設管(配管)が漏れ、下管に滞留していた。ガス事業者が調査したところ、埋設管(配管)が漏れ、下管に滞留していた。ガス事業者が調査したところ、埋設管(配管)が漏れ、下管に滞留していた。	配管(埋設管)の腐食	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) 施設管理員に対し、埋設管を廃止し、露出設置するよう口頭で指導した。

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
北海道 歌志内市 17.1.21	漏えい	共同住宅 木造2階建	10:00	雪害	当該共同住宅の入居者から「屋根から落雪があり見に行ったらガス臭がした」と連絡が来たため現場に急行したところ、ガスメーターの継手部に亀裂が入っているのを確認した。	ガスメーター継手部の損傷	・ガス漏れ警報器あり（検知区域外） ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	（行政指導等） ・販売事業者に対して落雪の恐れのない箇所へ移動することを徹底するよう指導した。
兵庫県 姫路市 17.1.23	漏えい火災	共同住宅 鉄筋コンクリート造2階建	23:10	販売事業者	地下埋設型バルク貯槽プロテクター内の調整器内に侵入した雨水が凍結し、供給圧力が異常上昇した。燃焼器具が異常高圧となり、共同住宅26戸のうち1戸で、ビルトインコンロの点火操作を繰り返しているうちにガス滞留して、引火し、一瞬燃え上がり、レンジフード、フロアビルトインコンロ、レンジフード、フロアマットは燃え上がったが火はすぐに消された。	調整器の凍結 地下埋設横置き バルク貯槽 980kg x 1基	・ガス漏れ警報器あり（検知できない位置） ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	（行政指導等） ・販売事業者に対して事故原因の究明及び再発防止対策を行うよう指示した。
神奈川県 横浜市 17.1.24	爆発 軽傷者1 （男性18）	飲食店 鉄骨造2階 建	10:40	一般消費者等	アルバイト店員がフレスコガス栓を開けたところ、当該ガス栓に接続されていた継手金具付低圧ホースからガスが放出された。20分後、別のアルバイト店員が近くで設置されていた麺類の点火操作を行ったところ、滞留していたガスが引火し、爆発した。当該低圧ホースには、飲食店において元々が接続されていたが、当該ホースが老朽化し、低圧ホースが取り外しに放置されたため、あたる状態であった。	器具未接続	・ガス漏れ警報器あり（消費者により取り外されていた） ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり	（行政指導等） ・販売事業者に対して事故届けの提出を指示した。
長崎県 諫早市 17.1.29	漏えい	共同住宅 鉄筋コンクリート造3階建	13:00	販売事業者	ガス臭がすると消防へ通報があり、消防から連絡を受けた販売事業者が現場への行きの締めが不十分であったため、ガスが漏れていた。1月25日に調整器を交換後に実施した漏えい試験では、漏れは確認されなかった。	調整器の接続不良 ＜法違反＞ 法第16条 法第16条の2	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	（行政指導等） 販売事業者に対して、適切なる点検等を実施するよう指導するとともに、関係事業者等への周知、講習実施を要請した。

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
北海道 札幌市 17.2.17	漏えい	共同住宅 木造2階建	17:18	雪害	落雪による水塊が調整器を直撃して、出口接続部が損傷し、そこからガスが漏えいした。	調整器接続部（出口側）の損傷	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり（検知できない位置） ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり 	<p>（行政指導等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売業者に対して給排水設備の設置場所及び周知を要請した。 ・北海道LPGガス協会にLPGガス事故防止の徹底を要請した。
北海道 札幌市 17.2.18	CO中毒 軽症者3 (女性52,37,男性38)	飲食店 木造2階建	12:24	一般消費者等	<p>そば屋で調理をしていたところ従業員1人の具合が悪く着後、救急車で病院に搬送された。救えたため、救急車で病院に搬送されたと診断された。診断の結果、CO中毒（COHb濃度30%）と診断された。排気筒トッブに燃焼効率が高まるとして、金属製の板（菓子箱の蓋）を斜めに立てかけて使用した結果、排気筒から不完全燃焼となり、COが漏れ出した。従業員が不完全燃焼の排気筒の中に入り、窒息した。従業員が不完全燃焼の排気筒の中に入り、窒息した。</p>	排気不良	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSBあり 	<p>（行政指導等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売業者に対して安全器具の使用を再開確認後に指示した。 ・北海道LPGガス協会にLPGガス事故防止の徹底を要請した。
北海道 網走市 17.2.22	爆発	旅館 鉄筋コンクリート造6階建	15:00	一般消費者等	<p>厨房の従業員が調理中に1名を倒した。従業員が倒れた後、従業員が倒れた場所から火花が飛び、燃焼した。従業員が倒れた後、従業員が倒れた場所から火花が飛び、燃焼した。</p>	器具の不完全燃焼による器具閉止による器具閉止と推定	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり（設置距離4m以上） ・ヒューズガス栓なし ・マイコンなし 	<p>（行政指導等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売業者に対して給排水設備の設置場所及び周知を要請した。 ・北海道LPGガス協会にLPGガス事故防止の徹底を要請した。

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
北海道 札幌市 17.2.22	漏えい	一般住宅 木造2階建	16:33	販売事業者	付近住民からガス臭がするとの通報があり調査したところ容器バルブと高圧ホースの接続部からガスが漏えいしていた。接続部も高圧ホースが多量に漏れ、ねじれにより緩み、ガス漏れが発生したものと推定された。	高圧ホースの接続不良	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズあり ・マイコンHあり	(行政指導等) ・配送事業者に保安の確保を徹底し、再発防止を図るよう指示した。
秋田県 横手市 17.2.24	爆発	一般住宅 木造2階建	17:30	雪害	屋根の雪が自然落下し、容器が約50cm上の高さまで積もった状態で、継手金具付低圧ホースが引き下り、継手金具が破断し、ガスが漏れ、ガスが着火により引火し爆発したものと推定された。	継手金具付低圧ホースの損傷	・ガス漏れ警報器あり(検知位置) ・ヒューズなし ・マイコンSあり	(行政指導等) ・販売事業者に対して再発防止措置を要請した。 ・秋田県エネルギー協会の協力を要請した。
北海道 札幌市 17.2.25	漏えい	飲食店 木造平屋建	14:40	雪害	近隣の住人がガス臭を感じたため、販売事業者へ通報、販売事業者が現場に駆けつけた。販売事業者は、建物内のガス漏れ警報器が鳴動していたため、消火から通雪により自動調整器の出口側継手部が破損して、ガスが漏れていたのを確認した。	調整器継手部の損傷	・ガス漏れ警報器あり(鳴動していた) ・ヒューズあり ・マイコンSあり	(行政指導等) ・供給設備の設置位置を考慮する等雪害事故防止の徹底について指導した。 ・北海道LPGガス協会に對して落水雪等によるLPGガスの事故防止の徹底を要請した。
北海道 札幌市 17.2.26	漏えい	共同住宅 木造2階建	14:57	販売事業者	容器バルブと高圧ホースの接続部からガスが漏れ、容器交換時に高圧ホースの接続部が破断した。容器交換後の点検が不十分であったと推定された。	高圧ホースの接続不良	・ガス漏れ警報器あり(検知位置) ・ヒューズあり ・マイコンSあり	(行政指導等) ・配送事業者に保安の確保を徹底し、再発防止を図るよう指示した。

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
北海道 札幌市 17.3.6	漏えい	共同住宅 木造2階建	19:14	雪害	雪の荷重により、調整器下部供給管の継手部に亀裂が生じた。供給管の側面に面して設置している除雪機の高さにより供給管の上部に亀裂が生じた。	供給管継手部の損傷	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) ・配送事業者の確保を徹底するよう要請し、再発防止を図るよう指示した。 ・北海道Pガス協会に対し、雪害による事故防止の徹底を強く要請した。
岩手県 滝沢村 17.3.6	漏えい	団地敷地内 空き地	18:45	雪害	団地の住人が除雪機を使って除雪中に、雪と地面の境目がわからずに誤って土中の埋設供給管(PE管)を損傷したたためガスが漏洩した。	供給管(埋設管)の損傷	なし(空き地)	
秋田県 横手市 17.3.15	漏えい	農業出荷施設 鉄筋コンクリート造	18:00	雪害	ガス臭がするとの報告を受け、緊急時対応の保安機関が派遣されたところ、ガスの漏れが確認された。貯蔵設備は直結屋根からの降雪に当り貯蔵設備の方へ流れ上部の調整器締め付け部が損傷していた。	調整器損傷	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) ・販売事業者に対して雪害防止措置を要請した。 ・秋田県工ルピーガス協会に対し雪害防止の徹底について要請した。
北海道 札幌市 17.3.16	漏えい	共同住宅 木造2階建	18:10	雪害	屋根からの降雪及び排雪による雪の荷重によりハッダの継手部分に亀裂が生じ、臭を感じて消防へ通報した。居住者がガス調整器、ハッダが交換され安全を確認後、ガスの供給を再開した。	ハッダの損傷	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンIIあり	(行政指導等) ・販売事業者の確保を徹底するよう要請し、再発防止を図るよう指示した。 ・北海道Pガス協会に対し、雪害による事故防止の徹底を強く要請した。

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
北海道 札幌市 17.3.16	漏えい	一般住宅 木造2階建	20:00	雪害	2月27日に一般消費者に依頼された排雪業者が屋根の雪下ろしをしており、供給設備の上約1.5mほど雪が堆積した状態であったため、雪の荷重により調整器接続部に亀裂が生じ、ガスが漏洩した。	調整器接続部の損傷	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズあり ・マイコンIIあり 	<p>(行政指導等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者に対して業者を依頼する際は、供給設備の設置位置を明確に知らせ、適切に排雪するよう指導した。 ・排雪業者に排雪の際、供給設備等雪の前面及び上部に雪を落とさないよう指導した。 ・販売業者について徹底を図るよう指示した。
北海道 札幌市 17.3.19	漏えい	地下鉄駅舎 鉄筋コンクリート造2階建	22:19	雪害	駅職員がガス臭を感じ、容器バルブを閉止して消防へ通報した。消防、警察、保安機関が出勤して現場を調査したところ、供給管に屋根からの降雪及び傾斜地からの雪の堆積があり、その荷重で供給管継手部に亀裂が生じ、ガスが漏洩した。	供給管継手部の損傷	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズあり ・マイコンSBあり 	<p>(行政指導等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売業者に対して、場所の移設について指示した。 ・販売業者に対して、雪害の防止に関する徹底を図るよう指示した。 ・北海道Pガス協会に対し、雪害による事故防止の徹底を強く要請した。
北海道 札幌市 17.3.21	漏えい	一般住宅 木造2階建	14:18	雪害	屋根からの降雪により氷塊が調整器に当たり継手部が折損した。連絡を受けた販売業者が供給管の修理及び調整器の交換をし、その後、気密試験を実施したため供給を再開した。	調整器の継手部の損傷	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズあり ・マイコンHあり 	<p>(行政指導等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売業者に対して、保安の徹底を要請した。 ・北海道Pガス協会に対し、雪害による事故防止の徹底を強く要請した。

発生年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
兵庫県 明石市 17.3.26	一般住宅 (集団供給 新築工事現 場) 木造2階建	酸欠 重症者 1 (12日後に 死亡) (男性57)		10:00	設備工事業者	26戸の集団供給を行っていた分譲地で新築物件への供給のため、既設本管より支管の接続工事を進めており、設置工事管を接続し、掘削した穴に現場を閉止し埋設管を埋め込み、現場に突入した際に本管よりガスが吸い込まれた。	埋設管工事ミス	なし(新築工事現場)	(行政指導等) ・配管工事を依頼した販売業者に対して、類似事故の再発防止を文書で指示した。 ・兵庫県プロパンガス協会に対して、類似事故の再発防止の徹底をはかるよう指示した。
東京都 足立区 17.3.29	一般住宅 木造2階建	爆発・火災		8:20	不明	消費者が炊事のためコンロと開放式湯沸器(5号)に点火し、その後に足元にあった石油ファンヒーターの漏れが原因で爆発した。事故原因はヒューズが溶けたことによる配管の交換と見られる。	不明	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズあり ・マイコンSあり	
群馬県 前橋市 17.4.21	共同住宅 (集団供給) 木造平屋建	漏えい		8:19	不明	大家から消防署へガス漏れの通報があったところ、消防と販売業者が現場で調査したが、調整器の下からガスが漏れ、道路の振動により大型車が通ると推定される。	不明 (車両振動による緩みの可能性あり)	なし(集団供給)	(行政指導等) 次の事項を販売業者へ口頭で指導した。 ・再度、同様の事故がないよう事前に漏えい事故も速やかに報告すること。
青森県 上北郡 17.4.29	飲食店 木造2階建	爆発 重症者 1 軽傷者 2 (女性58,58 男性58)		6:50	一般消費者等	通常は2時頃まで閉店準備を完了していたが、当日はお客様が来店し、従業員が完全に閉店準備が完了し、ガスが漏れ、着火した。爆発の原因は、作業中にガスが漏れ、着火したと推定される。	器具栓の不完全閉止	・ガス漏れ警報器あり(鳴動したがそのまま作業を継続した) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) (社)青森県工ルビがス協会へ事故防止の周知徹底を図るよう文書で依頼を行った。

発生年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
宮城県 牡鹿郡 17.6.24	一般住宅 木造平屋建	爆発 軽傷者 1 (女性78)		17:42	販売事業者	末端ガス栓とふろろがまを接続していたゴム管がねずみに噛られて漏れ、そこから爆発した。ふろろがまが末端ガス栓がゴム管で接続されており、告示で定められた基準に適合していませんでした。	ゴムの損傷 (ねずみ) ＜法違反＞ ・法第38条の2 規則第44第1号 ヲ違反(燃焼器 接続方法違反) ・法第38条の8 違反(設備工事 基準違反) ・法第20条違反 (業務主任者の 職務義務違反)	・ガス漏れ警報器 あり ・ヒューズガス栓 あり ・マイコンSSあり	(行政指導等) 販売事業者に対し、事 業所内の消費設備全て 点検を行い不備があれ ば改善と報告を口頭で 指導した。
神奈川県 大和市 17.6.29	老人ホーム 鉄筋コンクリート 造平屋建	爆発 軽傷者 1 (女性)		17:00	販売事業者	老人ホーム厨房で職員が繰り返し炊飯器の点火操作を行ったところ、突然爆発した。当該消費設備に着火した原因は、機器関係の調査が行われていたが、漏えい検査後の配管内エア抜きが不十分であった。	配管のエア抜き 不十分	・ガス漏れ警報器 あり(検知でき ない量) ・ヒューズガス栓 あり ・マイコンSBあり	(行政指導等) 保安機関に対し、口頭 で指導した。 ・調査後のエア抜き 徹底 ・燃焼器マークの確認 に追加、点検ステ ットの励行
静岡県 藤枝市 17.7.4	飲食店 鉄骨造	CO中毒 軽症者 2 (男性67, 55)		12:00	一般消費者等	厨房で業務中に従業員2名がCO中毒のため倒れた。事故時は窓を閉め、換気扇も作動させず、麺茹で器を使用していたため換気不良で不完全燃焼を起したと推定された。排気口に多量のすすが付着したうえ、熱交換器の排気口も目詰まりしていることが確認された。	換気不良	・ガス漏れ警報器 あり ・ヒューズガス栓 なし ・マイコンSSあり	
神奈川県 横浜市 17.7.7	共同住宅 鉄筋コンクリート 造4階建	爆発		19:40	一般消費者等	消費者がふろろがまの点火操作を行ったが、なにか点火したところ、突然爆発し、ふろろがまの筐体が変形するとともにふろろがまの覗き窓が破損した。	点火ミス	・ガス漏れ警報器 あり(検知でき ない位置) ・ヒューズガス栓 あり ・マイコンSSあり	

発生年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
京都府 宇治市 17.8.29	共同住宅 鉄骨造2階 建	漏えい	共同住宅 鉄骨造2階 建	8:00	販売事業者	共同住宅の住人が外に出たときにガス臭がしたため、消防署に通報すると共に販売事業者へ連絡を閉止後、漏えい検査を実施して供給管、ガスメーター、周回、消費設備の調査と漏えいしているのを発見した。	ガスメーターの接続不良	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) 販売事業者に対し、事故再発防止について口頭で指導した
神奈川県 横浜 17.9.4	一般住宅 (借上げ 社員寮) 木造平屋建	爆発 軽傷者 1 (男性16)	一般住宅 (借上げ 社員寮) 木造平屋建	20:00	一般消費者等	消費者がふろがまの点火操作を行っていたがなかなか点火しなかつたため、点火操作を7～8回繰り返して点火した。	ふろがまの点火ミス	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
滋賀県 彦根市 17.9.5	一般住宅 木造2階建	爆発 軽傷者 2 (男性34、 24)	一般住宅 木造2階建	11:25	都市ガスの工 事業者	都市ガスへの転換工事中にパージして空配管となつた側の配管(LPガス)と思ひ込み、誤ってサンダーで切断したため、配管からガスが吹き出し、サンダーの火花から引火して爆発した。	配管の切断	なし(都市ガスへ切り替え工事中)	(行政指導等) 販売事業者に対し、事故現場の転換工事がある場合、都市ガスへ切り替え作業を行う際は、都市ガスとLPガスの混合による引火の危険性を十分に認識し、適切な作業を行うよう指導した。
鹿児島県 垂水市 17.9.23	一般住宅	漏えい火災	一般住宅	6:00	一般消費者等	消費者が二連バーナーを使用のため、販売事業者の承認を得ず、自動切り替調整器1本を取り外して、消費者所有の5kg単段調整器が自動切り替調整器の切替部にふれ、バーナーの火から引火した。	消費者が自動切り替調整器の切替部に触れたため	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓あり ・マイコンHあり	
福岡県 福岡市 17.9.26	共同住宅 鉄筋コンクリート 造5階建	漏えい	共同住宅 鉄筋コンクリート 造5階建	22:10	販売事業者	共同住宅の住人よりガス臭がするとの消防署に通報があり、現場から連絡を受けた販売事業者が到着し、漏えい箇所を確認したところ高圧ホースの接続不良による漏えいを確認した。	高圧ホース接続不良	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓なし ・マイコンなし	

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
新潟県 佐渡市 17.10.22	爆発 重傷者 1 (女性67)	共同住宅 鉄筋コンクリート 造平屋建	10:00	不明	10月19日にふろろがまの交換工事が行われ、19日と20日にはふろろがまが着火した。事故当日は、9時30分頃に着火し、そのまもなく爆発した。爆発の衝撃で、ふろろがまの設置位置がずれ、ガス漏れが発生した。ガス漏れは、ガス配管の接続部分から発生した。調査の結果、ガス漏れの原因は、ガス配管の接続部分の劣化によるものと判断された。また、ガス漏れ発生時の状況を確認したところ、ガス漏れ発生時に、ガス漏れ防止装置が正常に動作していたと確認された。	調査中 (金鳳フレスコ 部からの漏れは 確認されたが、 事故の原因に ついては調査を 行っている。) <法違反> (設備工事業者) 法第388条の2 第388条の8 第388条の10	・ガス漏れ警報器 あり(鳴動した が対応せず) ・ヒューズガス栓 あり ・マイコンSあり	(行政指導等) 設備工事業者に対 し、工事後の気密試 験を実施した。 ・特定液化石油ガス設 備工事事業開始届の 未提出
和歌山県 新宮市 17.11.1	爆発・火災 軽傷者 2 (男性70, 59)	飲食店 木造2階建	12:05	一般消費者等	飲食店の客が食事中、主の勘違いで、ガス配管の接続部分に着火した。着火した原因は、ガス配管の接続部分の劣化によるものと判断された。また、着火した際に、ガス漏れ防止装置が正常に動作していたと確認された。着火した場所は、ガス配管の接続部分であり、ガス漏れ防止装置が正常に動作していたにもかかわらず、着火した原因は、ガス配管の接続部分の劣化によるものと判断された。	燃焼器具未接続 の末端ガス栓の 誤開放	・ガス漏れ警報器の 設置位置が不適 切) ・ヒューズガス栓 なし ・マイコンSあり	(行政指導等) 販売業者に対し、文 書で次の事項につい て指導した。 ・「LPLPガス設備保安 点検調査票」の供給 設備点検に係る要望や 事項については速やか に改善を実施するこ と。 ・「LPLPガス設備保安 点検調査票」の消費費 設備調査に係る改善や かに再調査を実施す るなど、十分な保安 指導を十分な保安指 導に実施すること。 ・「LPLPガス設備保安 点検調査票」の内容を記録 すること。
滋賀県 大津市 17.11.5	漏えい	共同住宅 鉄骨造2階 建	0:00	販売事業者	通行人からガス臭がすると消防に通報があった。その後、連絡を受けた販売事業者が現場へ向かい、バルブの劣化を確認し、バルブを閉止した。また、ガス漏れ防止装置が正常に動作していたと確認された。	ヘッダーの劣化 (バルブ部)	・ガス漏れ警報器 なし ・ヒューズガス栓 なし ・マイコンSあり	(行政指導等) 販売業者に対し、今 回の漏えい事故を踏ま え、今後の改善計画を 提出するよう指導した

発生年月日	発生場所	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
福島県 南会津郡 17.11.15	一般住宅 木造平屋建	CO中毒 軽症者 4 (男性28, 女性28, 6, 5)		18:30	販売事業者	一般住宅において家族4人がCO中毒になり病院に搬送された。屋外設置湯沸器(20号)が屋内に設置されておき、また、事故当日は台所に2ヶ所ある換気扇を使用していたことから酸素不足となり不完全燃焼を起こしたものと推定された。	換気不良 設置未適合 (屋外設置湯沸器の屋内に設置したため) ＜法違反＞ 規則第44条違反 (屋外設置湯沸器の屋内に設置した)	・ガス漏れ警報器あり ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	
奈良県 奈良市 17.11.17	道路下 (集団供給 供給設備)	漏えい		11:17	都市ガスの工 事業者	都市ガス会社及び都市ガス工事事業者が埋設管の存在を確認したため、機械掘削したときに埋設管(供給管)を損傷した。9月2日に都市ガス会社から販売事業者へ「地下埋設物事前調査協議書兼施工通知書」が送付され、その後、都市ガス事業者が協議に訪れたことが、補償に係る話であった。しかし、事故当日に販売事業者へ連絡せずに行っていた。	埋設管(供給管) の損傷	なし (集団供給の埋設管に係る事故)	(行政指導等) 販売事業者に対し、協議依頼に真摯に対応し、協力を要するよう指導した。 (都市ガス事業者に対して、協議を期するよう指導した。)
宮城県 牡鹿郡 17.11.21	その他 (水産物流 センター)	漏えい		9:00	設備工事業者	ガス臭があり、販売事業者が調査したところ、埋設管(配管)からガスが漏えいした。配管の下に滞留していた。建物管理用地下ピットに滞留していた。その後、施設を全館閉鎖し、消防署の協力を得てガス設備の排気管を3月に施工していたが、当該設備は平成6年3月に施工された被覆鋼管であり、立上り配管も同様に施工された被覆鋼管であり、貫通部は全てブラケット内では継手を認めず、全て白管での処理をしていた。また、接続部にパッキン(エルボ)内部には水が溜まっており、腐食しやすい状態となっていた。そのため、PLP継手と白管の接続部が激しく腐食していた。	埋設管(配管)の 腐食	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンSあり	(行政指導等) 施設管理員に対し、埋設管を停止し、露出指導するよう口頭で指導した。

発生場所 発生年月日	現象 被害状況	建物用途 構造	発生 時間	原因者	事故概要	事故原因 法違反の有無	安全器具等 設置状況	行政指導等
長野県 小諸市 17.11.24	漏えい火災	飲食店 木造2階建	10:30	一般消費者等	営業準備のため、二重こんろに寸胴(大)と3口こんろに寸胴(小)と手鍋をかけ、弱火のまま買い出しに出かけた後、火災となった。寸胴(大)の底に火が着いていたことと、何らかの原因により立消えしたため、ガスが漏えいし他の3口こんろの火が引火したものと推測される。	2重こんろの立消え ＜法違反＞ 規則第7号(業務主任者の職務違反) 規則第36条及び第37条違反(点検調査の期限内未実施)	・ガス漏れ警報器あり(検知できない量) ・ヒューズガス栓あり ・マイコンS8あり	(行政指導等) 販売事業者に対し、供給・消費設備定期点検調査の実施期限の遵守等について文書で指導した。
京都府 船井郡 17.11.24	漏えい	一般住宅 木造2階建	14:30	販売事業者	11月11日に販売事業者が変更、供給設備を施工した。供給開始時点検・調査を実施し、漏えい等の異常の無いことを確認した。その後、21日に使用状況確認のため、訪問したが異常は認められなかった。しかし、24日に消費先からガス臭(漏えい)がする旨の連絡があったため、現場で調査したところ、調整器下部ユニオン部からシユーターと音がしてガスが漏えいしていた。なお、ユニオン部が緩んだ原因は不明である。	調整器下部ユニオン部の緩み	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓なし ・マイコンSあり	
埼玉県 さいたま市 17.11.28	漏えい	共同住宅 鉄骨造2階建	7:25	不明	付近の住人からガス臭がすると消防に通報があった。消防から連絡を受けた販売事業者が現場に行き、消え口を確認した。調査の結果、漏えい箇所が確認された。調査の結果、ガスが漏えいしているのを確認した。なお、ユニオン部が緩んだ原因は不明である。	漏えい検知装置出口の緩み ＜法違反＞ 保安業務告示第2条第3号口(緊急時対応の際30分以内に現場に到着せず)	・ガス漏れ警報器あり(検知できない位置) ・ヒューズガス栓なし ・マイコンSあり	
東京都 日野市 17.11.29	爆発 軽傷者2 (男性)	一般住宅 木造	7:15	一般消費者等	消費者宅において屋台用として質量販売により購入した20kg容器を消費者が勝手に、ゴム管で接続して使用していたが、ゴム管が亀裂が入っていったため、亀裂箇所からガスが漏えい、何らかの火から引火爆発した。 (質量販売 20kg × 1本)	ゴム管の損傷	・ガス漏れ警報器なし ・ヒューズガス栓なし ・マイコンなし	

V. その他事故

“その他事故”については、経済産業省原子力安全・保安院“液化石油ガス関係事故措置マニュアル”に定義されるもので、“自殺、故意、いたずら、盗難等”に該当し、いわゆる“LPガス事故”の対象外の事故である。ここに収録してある“その他事故”は“LPガス事故”と同じく、“液化石油ガス一般消費者等調査報告書”により都道府県から経済産業省へ報告があったものである。

“その他事故”は（表－21、94頁）、平成17年は53件であった。これを個別にみると、“自殺”については、平成17年は13件で死者5人、傷者14人となった。“故意・いたずら”は、15件で死者なし、傷者4人であった。“単純火災”は、こんろにやかん、なべ等をかけたままにしているうちに周囲の可燃物に燃え移り火災となったもの等であり、6件で死者なし、傷者2人となった。“その他”は、容器盗難、交通事故等で、19件で死者なし、傷者2人であった。

表-21 その他事故の年別件数及び死傷者数

種別	年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
自殺	件数	8	16	13	14	11	9	11	3	9	13
	死者	2	1	4	4	3	3	3	-	3	5
	傷者	8	21	14	14	9	11	7	3	6	14
故意・いたづら	件数	6	4	11	7	13	14	12	17	15	15
	死者	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
	傷者	4	1	6	9	2	2	1	3	-	4
単純火災	件数	4	4	1	9	10	8	6	7	11	6
	死者	5	2	-	-	-	1	1	1	-	-
	傷者	3	-	-	3	1	5	-	1	9	2
その他	件数	6	5	13	19	22	24	38	29	25	19
	死者	4	-	-	-	-	-	2	1	1	-
	傷者	4	3	4	14	15	12	31	15	1	2
合計	件数	24	29	38	49	56	55	67	56	60	53
	死者	11	3	5	4	3	5	6	2	4	5
	傷者	19	24	25	40	27	30	39	22	26	26

[注] その他とは以下のようなもの

1. 容器の盗難
2. 自動車の飛び込み等
3. 隣接家屋等の火災による過熱等
4. その他自殺、故意、単純火災に該当しないもの